

# 1

## シャウト喜び

C Am7  
 シャウト喜び シャウト叫べ  
 F F/G G C F/G G

勝利はすでに主のもの

C Am7  
 シャウト喜び シャウト叫べ  
 F F/G G C G/B

勝利はすでに主のもの

Am Dm7 G C E  
 ※どんな敵も どんな武器も 役に立たなくなる  
 /G# Am Dm7 D G  
 主は 我らの救いの岩 小羊の血で打ち勝った

## 新聖歌474番 主がわたしの手を

1. 主が私の手をとってくださいます  
 どうして怖がったり逃げたりするでしょう

\* 優しい主の手にすべてを任せて  
 旅ができるとは何たる恵みでしょう

3. いつまで続くか どこまで行くのか  
 主がそのみ旨を 成したもうまます

## 主がここにおられます

1.  
 C F Dm G7 C  
 主がここにおられます  
 Am Dm G7 C  
 近づこう 恵み御座に  
 C F Dm G C  
 主がここにおられます  
 Am Dm G C  
 ふれましょう 御霊に

2.  
 麗しい 助けぬし  
 活ける水 あふれ流れる  
 あなたこそ 癒し主  
 手をあげて たたえよう

# 5

## 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。

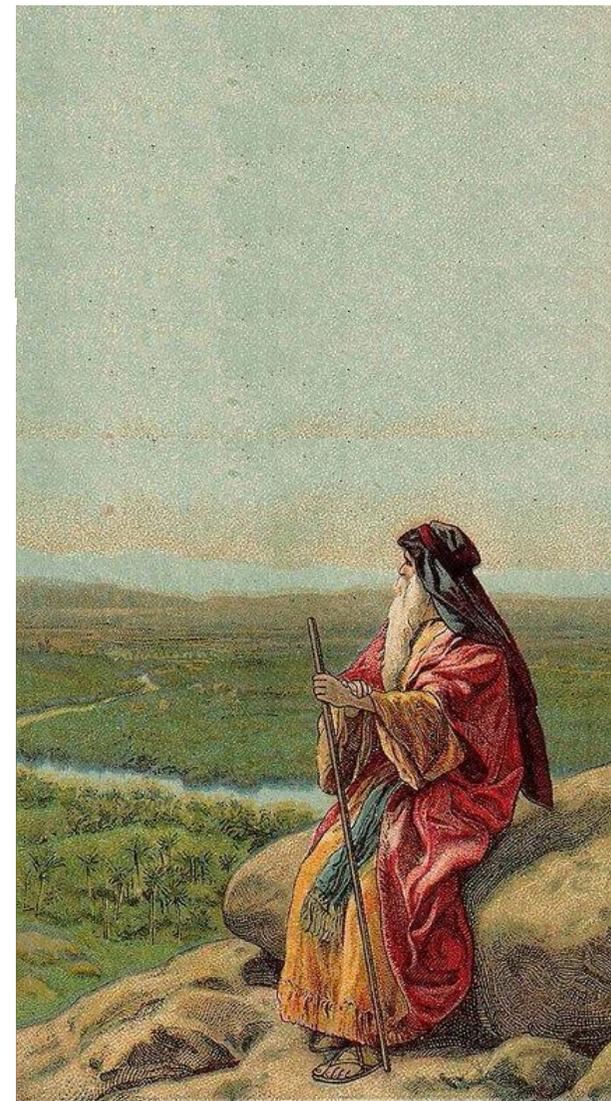
## イザヤ書51章1～2節

1「義を追い求め、主を尋ね求める者よ、わたしに聞け。あなたがたの切り出された岩と、あなたがたの掘り出された穴とを思いみよ。

2あなたがたの父アブラハムと、あなたがたを産んだサラとを思いみよ。わたしは彼をただひとりであったときに召し、彼を祝福して、その子孫を増し加えた。

## 瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



## 祈りの小径(こみち)

Number:071 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2

### 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

#### 創世記12章1～9節

1 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。2 わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。**あなたは祝福の基となるであろう。**3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地のすべてのやからは、あなたによって祝福される」。

4 アブラムは主が言われたようにいで立った。ロトも彼と共に行った。アブラムはハランを出たとき七十五歳であった。5 アブラムは妻サライと、弟の子ロトと、集めたすべての財産と、ハランで獲た人々とを携えてカナンに行こうとしていで立ち、カナンの地に来た。6 アブラムはその地を通過してシケムの所、モレのテレビンの木のもとに着いた。そのころカナンびとがその地にいた。7 時に主はアブラムに現れて言われた、「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」。**アブラムは彼に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。**8 彼はそこからベテルの東の山に移って天幕を張った。西にはベテル、東にはアイがあった。そこに彼は**主のために祭壇を築いて、主の名を呼んだ。**9 アブラムはなお進んでネゲブに移った。

#### コロサイ人への手紙3章9～10節

9 互にうそを言うてはならない。あなたがたは、古き人をその行いと一緒に脱ぎ捨て、10 造り主のかたちに従って新しくされ、真の知識に至る新しき人を着たのである。

## 3

### 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

創世記12章1節にある「国を【出て】=get out」という言葉はヘブル語で、レク・レッカー。あるヘブル語学者は、この言葉は「自分から出て自分に向かってゆけ」という意味がある解説しています。

つまり、古い自分からの脱却と出発。本当のあるべき自分の姿に向かって出発しなさいと、神様は、新しい世界へと私たちをいざなうのです。

## 4

### みことばの解説



あなたの栄光を示してください！

Show us Your Glory! 出エジプト33の18

「原点回帰」というシリーズで、礼拝メッセージをお届けしています。この夏の期間、「はじめの愛」に立ち返り、数々の素晴らしいことを感謝し、主の恵みを忘れて生きているものとさせて頂きたいと思ひます。

その意味で、私たちクリスチャン(信仰者)にとって、アブラムとその召しだされた時のことを振り返るのは、「聖書的な原点回帰」です。イザヤ書51章1節には、【あなたがたの切り出された岩と掘り出された穴を思い見よ】とありますが、その直後(2節)に、神様はアブラムを「ただひとりであったときに召し」そして祝福したとあります。

神様はイスラエルという民族を選び、またそこから神の国を建て上げるために「ひとり」を召しだされました。神様は全宇宙を創造し保持しておられるスケールの大きい御方ですが、何事も「ひとり」の「ひとつの招き(Calling)」で始められるのです。アブラムにとって、それは神様が示す、行ったことのない初めての場所、約束の地に向かって「一歩」踏み出すことでした。そして、その招き(召し)は、彼がひとりであったときになされたのです。個人と共同体、共同体と個人。夫婦は一体ですが、それでも個人です。神様は、ひとりひとりが、神様の声に聞いて生きること、そしてそれは常に共同体(家庭・職場・学校・教会・地域社会)に影響を与えることを意識してほしい！と願っておられるのでしょう。

一歩踏み出したアブラム。彼は暗記するほどに1～3節の言葉を握りしめたでしょう。私たちも主が招き、語り、約束してくださったことを「堅く握って」歩みだすべきです！そして彼は約束の地についてまず「祭壇を築いて、主の名を呼んだ(7～9節)」とあります。私たちのゴールとは、主がご顕現される場所で礼拝すること！であり、その奥義はこれから開かれる天国のミステリー(神秘)です！